

e シンキング（人づくり広域連合政策情報メルマガ）第 78 号

2011 / 4 / 15 発行（月 1 回発行）

## 【 目 次 】

今月のトピックス

「災害時におけるツイッターの活用」

広域連合からのお知らせ

平成 23 年度政策課題共同研究の研究者募集

政策情報誌「Think-ing」第 13 号特集テーマ募集

平成 22 年度政策課題共同研究報告書発行

政策情報ライブラリー新着図書のご案内

現場レポート

自治大 政策課題研究（投稿レポート）

今月のトピックス

「災害時におけるツイッターの活用」

ツイッターとは、利用者がインターネット上で 140 文字以内の短文を発信する（つぶやく）簡易投稿サイトのことで、パソコンや携帯電話などから気軽に読み書きできるという特徴があります。ここ 1、2 年で急速に普及が進んでおり、経済産業省の調査によると、観光情報や行政情報などを発信するために活用している自治体は、全国で 130 以上となっています。

3 月 11 日に起きた東北地方太平洋沖地震では、震源地に近い多くの自治体で、防災無線が壊れ機能しなくなったり、自治体のホームページが見られなくなるなど、住民に情報を発信できない状態が続きました。また、震源地から離れた自治体でも、家屋の倒壊や停電、断水などの被害がありました。これらの地域でも、震災直後は電話がかかりにくい状態が続いていたため、現場からの詳細な被害報告が入らず、状況の把握に時間がかかったケースも見られました。

そのような状況下で、携帯電話などのモバイル端末からインターネットへの

接続は比較的スムーズだったということもあり、ツイッターを活用して、避難場所や被害状況などの情報を発信した自治体がありました。

例えば、茨城県つくば市では、震災により交通機関がマヒしたことにより帰宅困難者が出ることが予想されたため、つくば市内の避難所リストを、ツイッターを通じて住民に素早く発信しました。また、断水により水が必要な住民への給水車情報や県内の道路交通情報、学校の休校情報など時々刻々と変化する情報も随時発信し続けました。

このような現状を受け、経済産業省は、内閣官房及び総務省と共同で、国や自治体がツイッターなどを活用して情報発信をする際の留意点などをまとめたガイドラインを作成し、公表しました。誤った情報発信による混乱のリスクや、モバイル端末を持っていない人や操作に慣れていない人には情報を伝達しにくいなど克服すべき課題もあります。しかし、災害時に必要な情報を素早く発信し、住民の安心に寄与するツイッターは、今後自治体においてもますます活用されることが望まれます。(む)

=====

#### 広域連合からのお知らせ

#### 平成23年度政策課題共同研究の研究者募集

平成23年度政策課題共同研究の下記の2テーマの研究者を募集しています。

- ・都市部における緑地の保全
- ・非常時における自治体の役割

日頃より上記のテーマに関心がある方または他団体の人達と共同で研究してみたいという方は、是非ご参加ください。

#### 研究者募集の詳細は

<http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/80kenkyu/01/H23kbosyu/HP/bosyu.htm>

-----

#### 政策情報誌「Think-ing」第13号特集テーマ募集

当広域連合では、政策情報誌「Think-ing」を年1回発行しています。

毎回、特集するテーマを設定し、そのテーマに関して有識者や自治体職員に寄稿していただくほか、事例などを紹介しています。現在、第13号の特集テーマとして、自治体が直面する、又は今後予想される課題を幅広くとらえたテーマを募集しています。是非、ご応募ください。

テーマ募集の詳細は

<http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/81sien/01/13/theme/bosyu.htm>

過去の Think-ing については

<http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/81sien/01/top.htm>

---

## 平成 22 年度政策課題共同研究報告書発行

当広域連合では、県や市町村が直面している政策課題について、広域連合構成団体（県、市町村）職員等が共同で調査研究を行っています。

平成 22 年度は、下記 2 テーマについて研究し、報告書をまとめました。

- ・ 地域の生活環境問題の解決に向けて ~ ごみ屋敷を通じて考える ~
- ・ 埼玉 × 観光 ~ 地域を豊かにする物語 ~

報告書は、県主管課、各市町村研修担当に配布させていただきましたのでご覧ください。業務で利用される場合は無償で、それ以外の場合については 1 冊 500 円で提供しております。入手方法につきましては直接お問い合わせいただくか、下記ホームページをご覧ください。報告書概要版については、ホームページでもご覧いただけます。

報告書の入手方法については

<http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/80kenkyu/01/hanpu.htm>

平成 22 年度政策課題共同研究の報告書については

<http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/80kenkyu/01/top.htm>

---

## 政策情報ライブラリー新着図書のご案内

4 月の新着図書は次の 5 冊です。

『現場発！産学官民連携の地域力』

関西ネットワークシステム / 編 学芸出版社

『地域の自律的蘇生と文化政策の役割』

井口貢 / 編著 松本茂章 他 / 著 学文社

『自治体の政策刷新効果と地域力』

神奈川県、慶應義塾大学 / 編著 ぎょうせい

『環境社会学』

船橋晴俊 / 編 弘文堂

『コミュニティの幻想を超えて - 「善き居場所」の創造 - 』

蔵書の閲覧・貸出は、構成団体職員の方ならどなたでもできます。

詳しいご案内、蔵書一覧は

<http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/82network/02/Library.htm>

---

## 現場レポート

### 政策課題研究

「おひさまからのおくりもの～太陽光発電普及プロジェクト～」

自治大学校第1部課程第115期 井桁 章雄

自治大学校第1部課程は、全国の都道府県、政令市職員を主な対象とした約5か月間の研修です。立川市で寮生活を送りながら、政策形成能力と行政管理能力の向上を目指して、法律、経済、地方行財政、公共政策等について、各分野の第一線で活躍する講師による講義と研修生が主体的に取り組む演習を通じて学びます。

演習の中で、最も重要で多くの時間をかけて行われるのが、政策課題研究です。この研究では、研修生自身が共通の関心を持つ4～5名のグループを自主的に作り、テーマを設定します。グループ内で議論しながら、先進地事例の調査等を通じて、課題を整理し、その課題の解決策を報告書にまとめ、東京大学名誉教授の大森彌先生をはじめとする講師陣の前でプレゼンテーションします。

私は、警察庁、長野県、鳥取県、愛媛県の方々と一緒に、自然エネルギーを地域で利用していく仕組み作りをテーマに研究を進めました。長野県飯田市、東京都等での実地調査や自治大学校研修生へのアンケート調査を踏まえ、太陽光発電の普及施策を3つ提言しました。

1つ目はグリーン価値を取り入れた普及施策です。太陽光で発電された電力は発電の過程で二酸化炭素を発生しないため、地球温暖化防止等の環境価値があり、この価値がグリーン電力証書として取引されています。自治体がこのグリーン電力証書の発行事業者となり、太陽光で発電された電力のグリーン価値を企業等に販売し、その対価を財源の一部とし、太陽光発電設備の設置費用を補助するものです。

2つ目は意志あるお金を活用した民間主体の普及施策です。環境問題の解決に役立つファンドに投資したいという意志あるお金を市民から集めファンドを組成し、それを資金に太陽光発電設備を設置する事業を行う民間団体を育成・

支援することで、普及を進めるものです。

3つ目は、再生可能エネルギーで発電した電力の全量を買取る制度が実施された場合に自治体の保有する遊休地等を発電事業者に貸し出すことで、普及を進めるものです。

この研究では、成果物としての報告書の完成度もさることながら、報告書完成まで、グループで議論し、提言にまとめていく、その過程で得るものが多いと言えます。異なった考えを持つ者同士が、いかに自分の意見を述べ、共通の方向性を見出していくか、これは自治体での政策形成プロセスに十分活用できるものと思います。

この研究で得たものを含め、自治大で学んだ知識、研修生相互のネットワークは何にも代え難い貴重な財産です。これを糧として、日々の仕事に励んで行きたいと思います。

=====

ご意見・掲載希望

今月号のeシンキングはいかがでしたか？ご意見・ご感想がありましたら下記担当までお寄せください。また、各コーナーでは皆様からの参加レポートなどの情報提供を随時募集しています。「これは記事になるかな？」というものがあれば、お気軽にご連絡ください。

[ eシンキング / 毎月15日発行 ]

発行元

彩の国さいたま人づくり広域連合 政策管理部（石橋・村田）

〒331-0804 さいたま市北区土呂町2-24-1

TEL:048-664-6681 FAX:048-664-6667

WebPage: <http://www.hitozukuri.or.jp>

E-Mail: [jinzai03@hitozukuri.or.jp](mailto:jinzai03@hitozukuri.or.jp)

=====